

# 近津神社縁起

永承六年（一〇五一）陸奥の安倍の貞任、宗任一族の反乱によって前九年の役が起こると、源頼義、義家父子が率いる朝廷軍は当地に布陣した。安倍一族との戦いを前に義家公は国中の祖霊を招魂して祈願すると、実如として雲霧が湧き立ち四方が薄闇の中に埋れてた。晴れると安倍一族の大軍は退散していた。

義家公は、大いに喜び勇んで追撃し連戦連勝を重ねた。その後この天運に感し、この地に『千勝大明神』を祀り『中ツ国広の扇』を御神体として祭祀した。前九年の役が終わると、源氏の一族源有光は奥州の押えとして石川の地を与られた。

康平五年（一〇六二）有光公は八幡山に三蘆城を築いた。

この山頂に『味鋺高彦根命』を祀る社があったが、築城中同社を假に高田五里石の千勝大明神の地に遷座した。

治歴二年九月これを旧社に還遷し、味鋺高彦根命を令祀して近津神社と改称した。

祭神は大国主命の子で農業の神、国守の神として、古くから当地方の人々に崇拜されていたが、以来近津神社は、五穀豊穡、家内安全、高売繁昌、恙病息災、火難水難除、修学就労成就、交通安全神として近郷近在の崇敬を集めるに至った。

祭日には、小俵二俵に糶を入れて奉納し、当社より一俵授かり種糶とする風習があった。当日は町内に市が立ち、袖、生薑、衣料、雑貨などを買い求める参拝人で大いに賑わった

この市は八槻市として現在に受けつがれ、当地方の名物行事としてより一層の賑わいをみせている。

～ 近津神社秋季例大祭 ～

祭典執行

午前11時

ご来場の皆さまのご参拝お待ちしております。